

学術行事開催における新型コロナウイルス対策マニュアル

公益社団法人 日本歯科技工士会

1. 事前申し込み方式による受講者希望者と予想数の把握⇒受講者名簿の事前作成.
2. 会場は、申込者数の2倍のキャパシティを目安に確保.
3. 配席は、前後の間隔を確保するため、シアター式ではなく、スクール式が適切.
4. 受講者は、臨席を空けて着座. 設定した空席には背もたれ部に表示(下図参照).
5. 施設側からの会場の換気状況(空調と外気導入, 窓の開閉可否)のヒアリング.
6. 使用可能エレベータ台数・階段の使用可否の把握.
7. 使用可能トイレの所在確認(男女各数・上下階等も含めて).
8. 会場内外の案内掲示は、受講者の動線の交錯を防止するように適切に設置.
9. 就業歯科技工士・歯科関係者への開催周知の際、対策に対する理解・協力を依頼.
⇒とくに「マスクの装着来場」と「当日の体調による来場の自粛」を周知.
10. 受付は、原則として無人とし(案内係が誘導), 受講者自身がテーブル上の「受講者一覧」(所属等で適宜分類)の自身の氏名にチェックを記入(筆記用具は本人持参).
11. 会場入口に擦式アルコール手指消毒剤を設置.
12. 受講者・講師・来賓・役員に対するマスクの常時着用 of 要請(予備マスクの用意).
13. 配布資料等は、事前に各席の座面に配置.
14. 協賛企業等による出展ブースは設けない.
15. 質疑応答の際の質問に対しては、スタンドマイクを設置.
16. 休憩時間を長めに設定し、トイレと喫煙室の集中使用を抑制.
17. 入場の際の前方からの着座と、終了後の後方から退場を誘導.
18. 終了後の懇親会・慰労会等は設営しない.

以上

[図 座席配置例]

○は空席設定

